

平成 29 年度第 1 回千葉市下水道事業経営委員会議事録

1 開催日時：平成 29 年 10 月 6 日(金) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分

2 開催場所：千葉市議会棟第三委員会室

3 出席者

【委員】（五十音順）

泉登茂子委員
伊藤久恵委員
川名部芳秋委員
工藤秀明副委員長
佐久間水月委員
袖澤利昭委員
瀧和夫委員長
細川恒委員
町田有委員

【事務局】

佐藤建設局次長
鈴木下水道管理部長
出山下水道建設部長
岡本下水道経営課長
古山下水道営業課長
慈道下水道維持課長
桜井中央浄化センター所長
古山南部浄化センター所長
鎗田下水道計画課長
高梨下水道計画課担当課長
今井下水道施設建設課長
森川下水道建設課長補佐
笠原下水道再整備課長補佐
山田下水道経営課長補佐
森下水道計画課長補佐

4 議題及び報告事項

(1) 議題

平成 28 年度下水道事業会計決算

(2) 報告事項

①平成 30 年度下水道使用料の改定について

②千葉市雨水対策重点地区整備基本方針

5 会議経過

(1) 議題 平成 28 年度下水道事業会計決算

【説明】 岡本下水道経営 課長	資料 1 平成 28 年度下水道事業会計決算 （「1 事業の概況」～「4 中長期経営計画」、「(参考) 会計制度」 に沿って説明)
鎗田下水道計画 課長	（「5 平成 28 年度決算における重点事務事業に沿って説明」)
【質疑応答】 伊藤委員	(資料 1・4 ページ) 平成 28 年度の年間総処理水量と 1 日平均 処理水量が、27 年度と比べて減少している理由は何ですか。 また、29 年 7 月に赤潮が発生し、悪臭がひどかったのですが、 高度処理により解消することができるのでしょうか。
鈴木下水道管理 部長	水量については、平成 28 年 6 月から 9 月にかけて濁水があり、 上水道で取水制限を行っていたことから、節水の意識が高まり、 処理水量が減少したものと思われまます。
出山下水道建設 部長	赤潮や青潮の発生が、全て下水に原因があるわけではありませんが、 下水における発生要因としては、処理水に含まれる窒素とリンに あり、これらが植物プランクトンの増殖につながり赤潮や青潮が 発生します。 窒素やリンは、標準活性汚泥法でもある程度除去はできますが、 高度処理と比べると除去率が若干下がることから、浄化センター の高度処理化を推進しています。 ただ、下水道施設の整備だけで赤潮や青潮の発生を全て抑制 できるわけではありませんので、東京湾流域の自治体と共同で 様々な施策を講じています。
鈴木下水道管理 部長	赤潮が発生し、魚が大量死したことによる腐敗臭もあったの ではないかと思われまます。下水道部局では、河口にオイルフェ ンスを張り、魚の死骸の回収作業を行いました。
川名部委員	取付管の老朽化対策はどのように行っていくのでしょうか。

出山下水道建設
部長

管渠のうち、市で管理するのは本管から取付管、第一公設枡までになります。管渠の老朽化対策については、テレビカメラで管渠の状態を調査し、その際に取付管の状態も確認していますので、必要に応じて取付管の管更生工事も行っています。

川名部委員

排水設備が老朽化し更新する際の貸付制度はありますか。

古山下水道営業
課長

くみ取り便所を水洗便所に改造する際の工事費に対しての貸付制度はありますが、その後、老朽化等した場合の更新についてはありません。

佐久間委員

マンホールトイレのことですが、保管しているトイレのうち年数が経過しているものに故障がないのか、定期的に点検を行っているのか、また、障害者にも配慮したトイレになっているのでしょうか。

出山下水道建設
部長

マンホールトイレのうち下水道部局が整備するのは下部構造部分にあたり、上部構造物は防災部局で整備します。

平成20年度から現在までで55箇所、1箇所あたり5基のマンホールトイレを整備しましたが、特に故障は発生していません。点検については、防災訓練等の際に組み立てて確認しています。また、5基のうち1基は障害者にも配慮したものとなっています。

伊藤委員

マンホールトイレを見せてもらうことは可能ですか。

出山下水道建設
部長

ご要望があれば、マンホールトイレを実際に見ていただいたり、組み立ててもらったりすることは可能です。

町田委員

マンホールトイレで予定している設置数と災害などが発生した際に、避難所で数が不足することはないのでしょうか。

出山下水道建設
部長

災害時のトイレ対策ですが、マンホールトイレが全て避難所のトイレというわけではなく、簡易トイレ等と組み合わせて、トイレを確保していくことになります。

地域防災計画では、避難者60人に対して1基のマンホールトイレを整備する目安があり、平成30年度までにマンホール

トイレを含め 2,800 基のトイレの確保することとしています。
28 年度末までに調達したトイレは全体で 1,978 基、そのうちマンホールトイレは 275 基で、全体の 14% 程度となっています。

今後ですが、耐震化等されている避難所については概ね整備が完了しましたが、それ以外の避難所については、プール水を利用した避難所が 112 箇所あります。29 年度からプール水を利用したマンホールトイレをモデル試行しており、本年度は 3 箇所、その後は年間 10 箇所程度を整備していく予定です。

細川委員

管渠の老朽化に伴う維持管理はどう計画されているのか。

また、処理水量あたりの維持管理費は、高度処理を導入することにより増加が見込まれるのでしょうか。

出山下水道建設
部長

管渠の維持管理については、管渠の他に、処理場、ポンプ場も含めて、平成 28 年度と 29 年度の 2 か年にかけて、下水道ストックマネジメント計画を策定している最中です。

本計画は今後 30 年間で展望した維持管理・改築更新にかかる費用を計上していますので、高度処理の導入による維持管理費の増加も見込んでいます。

既の実施している処理場やポンプ場における包括的民間委託で、経済的に運転管理し費用を削減するとともに、必要な維持管理費は計画のなかでしっかりみています。

袖澤委員

(資料 1・12 ページ) 自己資本構成比率の算定では、負債の繰延収益をなぜ自己資本に含めて計算しているのでしょうか。

岡本下水道経営
課長

この繰延収益は、主に国等からの補助金で、平成 25 年度以前は、資本に計上されていましたが、地方公営企業法等の改正により、平成 26 年度から会計制度が変更となって、資本から負債に計上されることになりました。

ただ、繰延収益は、会計制度上負債に計上されているもので、借入金や未払金等のように返済しなければならない負債ではありませんので、指標の計算では自己資本に含めています。

袖澤委員

防水板の設置助成の申請件数はどのくらいあったのですか。

鎗田下水道計画
課長

設置助成は、平成23年度に制度が創設され、29年8月末までで、全申請件数は26件となっています。なお、助成額は設置費用の2分の1で上限は75万円、1件あたり平均44万円の助成を行っています。

市では、雨水管渠やポンプ場等の公的施設を整備するハード対策とは別に、このような助成制度をソフト対策の一環として推進しています。

袖澤委員

広報はしていますか。

鎗田下水道計画
課長

梅雨期の6月や台風時期の9月に、ホームページやツイッターなどの媒体を利用するほか、区役所など市民が来訪する場所にリーフレットを置いて、助成制度のPRに努めています。

袖澤委員

(資料1・18ページ) 雨水対策の推進では、平成28年度は弁天地区1箇所が完了しましたが、決算額11億9600万円は、この弁天4丁目の増補管の設置費用ですか。

出山下水道建設
部長

雨水整備は単年度で終了せず、長期間を要します。現在、整備中のものもありますが、平成28年度に1箇所、増補管を整備したものです。

工藤副委員長

(資料1・20ページ) 管渠の改良ですが、他の整備の進捗状況と比べると遅れているようですが。

出山下水道建設
部長

東日本大震災の経験を踏まえ、中長期経営計画の計画期間の前半は、改築更新より耐震化に重点をおいてきました。

平成29年度から32年度までの4年間で、残り129キロメートルの整備は厳しいものがありますが、耐震化は確実に進めつつ、徐々に改築更新にシフトしていく予定です。

瀧委員長

市民の安全・安心のため、管渠の耐震化、改築更新はできるだけ早く進めるよう努めてください。

川名部委員

決算審査特別委員会では、どのような意見がありましたか。

出山下水道建設
部長

主に出された意見としては、市民の安全・安心を守るために、雨水対策や老朽化対策でより一層の対策を講じられたいといったことや、アセットマネジメントによる効率的な事業を推進していくようにといった提言がありました。

瀧委員長

当局におかれまして、委員のご意見を踏まえて、事業経営に反映していただくようお願いします。

(2) 報告事項 ①平成 30 年度下水道使用料の改定について

【説明】
岡本下水道経営
課長

資料 2 平成 30 年度下水道使用料の改定について
(説明)

【質疑応答】
工藤副委員長

(資料 2・3 ページ) 他市の直近改定年月日が古い理由は何ですか。

鈴木下水道管理
部長

一般的に使用料算定期間は概ね 3 年から 4 年で、各市町村で収支バランスをみて、改定の是非を判断していると思われます。
本市では、今後、維持管理・更新費用や企業債償還金が増加していくことを踏まえて、この先の改定率が 5～6%程度と試算していますが、具体的には、次期中長期経営計画で定めていくこととなります。現行の中長期経営計画期間内では収支不足とならないため、今回は改定の必要がないと考えています。

泉委員

(資料 2・3 ページ) 付されている星の意味は何ですか。

岡本下水道経営
課長

終末処理場を有しているという意味です。処理場の維持管理や更新費用がかかりますから、処理場を有している市町村は、使用料が高い傾向にあるということです。

瀧委員長

報告事項とのことですので、今後の見通しについて報告を受けたということで承ります。

(2) 報告事項 ②千葉県雨水対策重点地区整備基本方針

【説明】
高梨下水道計画
課担当課長

資料3 千葉県雨水対策重点地区整備基本方針
(説明)

【質疑応答】
泉委員

(資料3・10ページ) 貯留管や既設管などはそれぞれどうい
う関連性があるのですか。

高梨下水道計画
課担当課長

貯留管は、既設管の下に布設していきまして、大雨が降って、
既設管で流せない分を一旦貯留管に溜めておきます。そして、
雨が止んで既設管の中の水量が少なくなったら、ポンプで貯留
管から水を汲み上げて既設管で流します。地下貯留施設や調整
池も貯留管と同様です。

川名部委員

中央処理区は合流式ですが、対応はどうしていますか。

出山下水道建設
部長

千葉みなと駅海側に中央雨水ポンプ場と代表的な貯留管とし
て中央雨水貯留幹線がありますが、この貯留管から流れてきた
水は、ポンプ場内の雨水滞水池で一旦溜めておきます。

合流式ですので、雨水だけでなく汚水も混在していますが、
溜まる水量が多くなると、段々薄まってきます。その水は雨が
止んだ後、浄化センターで浄化して海へ放流していますので、
合流改善にも寄与しています。

細川委員

(資料3・3ページ) 床上・床下浸水が平成22年に260軒、
25年に280軒とありますが、発生したのは同じ場所なのか、
この発生場所については現在こういった対応をされているの
か、また、雨水対策の重点地区となっているのでしょうか。

高梨下水道計画
課担当課長

発生場所はそれぞれ異なっておりまして、件数は市全体のもの
です。発生が多かったのは草野地区で、水路のかさ上げなどの
対策を講じており、その後、浸水被害等は発生していません。

出山下水道建設
部長

補足ですが、中長期経営計画では53.4mm/hrの降雨対策
を講じることとしていましたが、ほぼ完了しています。

	<p>しかし、65mm/hrの降雨で浸水被害がする箇所もありますので、今後具体的に検討して対策を講じていくことを考えています。なお、平成22年の降雨では、この付近の国道357号線が全線に渡って冠水し、25年の降雨は、ピーク雨量309mm/hrで、24時間雨量としては本市最大の雨量でした。</p> <p>また、昨年9月には千葉駅前が冠水し、千葉駅前については、周辺の再開発の整備スケジュールにもよりますが、32年度以降にバイパス管の整備に着手できるのではと考えています。</p>
瀧委員長	<p>リスク評価にあたり、都市機能の維持面も考慮していますか。</p>
出山下水道建設部長	<p>リスク評価によってターミナル駅や住宅密集地など経済的な損失の影響が多い地区や人の生命財産に危害を及ぼすおそれのある地区を重点地区として抽出しています。</p>
瀧委員長	<p>電線類を地中化することにより、管渠の修繕等の際、思わぬ障害になると伺ったことがあります。無電柱化の地区などもリスク評価で考慮していますか。</p>
出山下水道建設部長	<p>リスク評価では、電線共同溝の項目はありませんが、ターミナル駅や公共施設、防災施設等が集中している地区を抽出していますので、結果的には考慮しています。</p>
伊藤委員	<p>市内の地域の対策としてはしっかりなされていると思いますが、市外へ出る幹線道路などへの対策はなされていますか。</p>
鎗田下水道計画課長	<p>(資料3・8ページ) リスク評価の指標として、都市機能集積度があり、そのなかで緊急輸送道路の有無という項目があります。これは、災害時等に緊急車両や輸送物資の車両が通行する道路で、このような道路管理者が防災対策として重点化している道路、その地域の主要道路、道路冠水により事故が発生するおそれがある道路等は当然リスク評価で考慮しています。</p>
瀧委員長	<p>何かご意見等ありますか。ないようですので、これで本日の委員会を終了とさせていただきます。</p>